



(財) 財務会計基準機構会員

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 30 日

上場会社名 株式会社ファンケル

上場取引所 東証一部

コード番号 4921

URL <http://www.fancl.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮島 和美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 龍地 敏典

TEL (045) 226 - 1200

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	24,929	2.7	2,470	95.9	2,495	101.5	1,208	47.7
19年3月期第1四半期	24,276	5.7	1,260	△61.6	1,238	△62.5	818	△56.4
19年3月期	101,065	—	8,370	—	8,388	—	2,547	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	18.88	18.76
19年3月期第1四半期	12.67	12.48
19年3月期	39.59	39.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	88,289	72,251	81.7	1,124.06
19年3月期第1四半期	84,093	71,609	85.2	1,108.62
19年3月期	86,931	71,560	82.2	1,116.59

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,697	△58	△412	24,638
19年3月期第1四半期	△5	456	△523	21,094
19年3月期	6,472	△1,733	△2,495	23,411

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
19年3月期第1四半期	円 銭 —
20年3月期第1四半期	—

## 3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	49,600	3.4	3,500	30.7	3,400	20.3	2,000	26.5	31	26
通期	103,500	2.4	9,000	7.5	8,800	4.9	5,000	96.3	78	14

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成19年3月期第3四半期まで、親会社はポイントサービス利用に伴う売上値引に対応する費用を、ポイント使用時に売上高の控除として記載しておりましたが、平成19年3月期期末決算より、発生時に販売費及び一般管理費として計上することといたしました。平成20年3月期第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の平成19年3月期第1四半期の売上高および利益と平成20年3月期第1四半期の売上高および利益を比較して算出した前年同期比に※印を付けて表示しております。

当四半期のわが国経済は、企業業績全般は引続き底堅く推移したものの、個人消費の本格回復には至りませんでした。

化粧品業界は、アンチエイジング基礎化粧品が引続き好調に推移しましたが、全体的には横ばいの状況が続いています。

健康食品業界は、市場の調整期が続く一方、表示や安全性に関する行政指導が厳しさを増し、企業間格差が鮮明になっています。

当四半期の売上高は、化粧品関連事業は好調に推移しましたが、栄養補助食品関連事業やその他事業が不振で24,929百万円(前年同期比2.7%増(※1.6%減))となりました。

一部製品の原材料価格の低下により売上総利益率が改善したことおよび広告宣伝費・販売促進費の効率化を図ったことなどにより、営業利益は2,470百万円(前年同期比95.9%増(※96.7%増))、営業利益率は4.7ポイント上昇(※4.9ポイント上昇)し9.9%となり、経常利益は2,495百万円(前年同期比101.5%増(※102.3%増))、経常利益率は4.9ポイント上昇(※5.1ポイント上昇)し10.0%となりました。

四半期純利益は1,208百万円(前年同期比47.7%増)、四半期純利益率は前年同期より1.4ポイント上昇し4.8%となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第一四半期末における総資産は、88,289百万円となり、前連結会計年度末より1,358百万円増加となりました。主な要因は、流動資産では、現金及び預金の増加1,551百万円、受取手形及び売掛金の増加232百万円、有価証券の減少1,009百万円などがあり、流動負債では、未払法人税等の減少805百万円などがありました。

純資産は72,251百万円となり、690百万円の増加となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては概ね予想通り推移しており、現時点では前回発表(平成19年5月1日)の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

・固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2) 無形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

・法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
現金及び預金	15,177	15,855	677	4.5	14,303
受取手形及び売掛金	9,402	10,216	813	8.7	9,983
有価証券	10,919	15,285	4,365	40.0	16,294
たな卸資産	6,475	7,022	547	8.5	6,746
その他	1,768	2,610	842	47.6	2,242
流動資産合計	43,742	50,989	7,247	16.6	49,570
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産					
建物及び構築物	12,368	11,378	△ 990	△ 8.0	11,582
土地	10,636	10,627	△ 9	△ 0.1	10,627
その他	2,644	2,681	36	1.4	2,753
有形固定資産合計	25,649	24,686	△ 963	△ 3.8	24,963
2. 無形固定資産	1,842	3,015	1,172	63.7	2,761
3. 投資その他の資産					
投資有価証券	2,026	830	△ 1,195	△ 59.0	830
長期貸付金	689	660	△ 28	△ 4.1	655
保証金	2,732	2,684	△ 48	△ 1.8	2,684
その他	7,410	5,422	△ 1,987	△ 26.8	5,464
投資その他の資産合計	12,858	9,598	△ 3,260	△ 25.4	9,635
固定資産合計	40,350	37,299	△ 3,051	△ 7.6	37,360
資産合計	84,093	88,289	4,196	5.0	86,931
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	3,957	3,952	△ 5	△ 0.1	3,741
未払金	3,852	3,731	△ 121	△ 3.2	3,313
未払法人税等	441	1,221	780	176.9	2,027
ポイント引当金	—	1,757	1,757	—	1,849
その他	2,363	2,953	590	25.0	1,938
流動負債合計	10,615	13,616	3,000	28.3	12,869
<b>II 固定負債</b>					
退職給付引当金	1,287	1,416	128	10.0	1,388
役員退職慰労引当金	202	196	△ 5	△ 2.8	223
その他	377	807	430	113.9	889
固定負債合計	1,868	2,421	553	29.6	2,500
負債合計	12,483	16,037	3,554	28.5	15,370
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
資本金	10,795	10,795	—	—	10,795
資本剰余金	11,851	11,877	26	0.2	11,852
利益剰余金	55,499	56,892	1,393	2.5	56,451
自己株式	△ 6,597	△ 7,492	△ 894	13.6	△ 7,699
株主資本合計	71,547	72,073	525	0.7	71,399
<b>II 評価・換算差額等</b>	61	50	△ 11	△ 19.3	50
<b>III 新株予約権</b>	—	128	128	—	111
純資産合計	71,609	72,251	641	0.9	71,560
負債・純資産合計	84,093	88,289	4,196	5.0	86,931

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	24,276	24,929	653	2.7	101,065
<b>II 売上原価</b>	8,511	8,111	△ 399	△ 4.7	33,895
売上総利益	15,765	16,818	1,053	6.7	67,170
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	14,504	14,347	△ 156	△ 1.1	58,800
営業利益	1,260	2,470	1,209	95.9	8,370
<b>IV 営業外収益</b>	48	119	71	148.6	621
受取利息及び配当金	10	32	22	217.5	118
その他営業外収益	37	87	49	130.0	502
<b>V 営業外費用</b>	70	94	24	33.9	603
たな卸資産廃棄損	52	75	23	44.3	429
その他営業外費用	18	19	0	5.1	174
経常利益	1,238	2,495	1,257	101.5	8,388
<b>VI 特別利益</b>	—	—	—	—	641
<b>VII 特別損失</b>	8	289	281	—	3,983
固定資産処分損	8	3	△ 4	△ 58.3	163
その他特別損失	—	286	286	—	3,820
<b>税金等調整前四半期 (当期) 純利益</b>	1,229	2,205	975	79.3	5,045
<b>税金費用</b>	411	996	585	142.1	2,498
<b>四半期(当期) 純利益</b>	818	1,208	390	47.7	2,547

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

(注2) 前連結会計年度末において、ポイントサービス利用に伴う売上値引に対応する費用にかかる会計処理方法を、ポイント使用時に売上高から控除する方式から、発生時に販売費及び一般管理費として費用計上する方式に変更しております。  
この方式を前年同四半期会計期間に適用した場合の修正値および影響額は、売上高25,324百万円(従来の会計処理方法との差1,048百万円増加)、販売費及び一般管理費15,557百万円(同1,053百万円増加)、経常利益1,233百万円(同5百万円減少)となります。

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 平成19年3月期
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,229	2,205	5,045
減価償却費	605	702	2,669
減損損失	—	—	981
賞与引当金の増減額(減少:△)	439	487	46
退職給付引当金の増減額(減少:△)	6	28	107
受取利息及び配当金	△ 10	△ 32	△ 118
有形固定資産処分損	8	3	150
売上債権の増減額(増加:△)	△ 424	△ 232	△ 1,006
たな卸資産の増減額(増加:△)	204	△ 276	△ 66
その他の流動資産の増減額(増加:△)	△ 370	△ 259	△ 47
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 49	211	△ 265
その他の流動負債の増減額(減少:△)	237	734	△ 118
その他	58	△ 201	1,513
小 計	1,935	3,370	8,891
利息及び配当金の受取額	10	30	105
法人税等の支払額	△ 1,956	△ 1,766	△ 3,381
その他	5	64	856
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	1,697	6,472
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有価証券の取得による支出	—	△ 4,492	△ 12,988
有価証券の償還による収入	1,701	4,997	12,695
有形固定資産の取得による支出	△ 760	△ 232	△ 2,145
無形固定資産の取得による支出	△ 463	△ 498	△ 1,829
その他の投資の取得による支出	△ 41	△ 26	△ 305
その他	19	193	2,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	456	△ 58	△ 1,733
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
自己株式の取得・売却による純収入(純支出:△)	31	205	△ 1,076
配当金の支払額	△ 555	△ 617	△ 1,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 523	△ 412	△ 2,495
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額(差損:△)</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	△ 73	1,226	2,243
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	21,167	23,411	21,167
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	21,094	24,638	23,411

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

## (4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	10,848	7,662	5,765	24,276	—	24,276
営業費用	9,342	6,831	6,388	22,562	452	23,015
営業利益又は 営業損失(△)	1,505	831	△622	1,713	(452)	1,260

当四半期(平成20年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	12,180	7,556	5,192	24,929	—	24,929
営業費用	9,702	6,666	5,601	21,971	488	22,459
営業利益又は 営業損失(△)	2,478	889	△409	2,958	(488)	2,470

(参考) 前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	46,376	31,665	23,023	101,065	—	101,065
営業費用	39,242	27,763	23,921	90,926	1,768	92,695
営業利益又は 営業損失(△)	7,133	3,902	△897	10,138	(1,768)	8,370

(注) 前連結会計年度末において、ポイントサービス利用に伴う売上値引に対応する費用にかかる会計処理方法を、ポイント使用時に売上高から控除する方式から、発生時に販売費及び一般管理費として費用計上する方式に変更しております。前年同四半期において変更後の方法によった場合の各セグメントの増減額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他 事業	計
売上高	+513	+368	+166	+1,048
営業費用	+516	+369	+167	+1,053
営業利益又は営業損失	△2	△1	△0	△5

## ◆ セグメント別の状況

## 1) 化粧品関連事業

## 売上高

化粧品関連事業の売上高は、12,180百万円(前年同期比12.3%増(※7.2%増))となりました。

	平成19年3月期 第1四半期		平成20年3月期 第1四半期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	8,123 (8,637)	74.9 (76.0)	9,399	77.2	15.7 (8.8)
アテニア化粧品	2,602	24.0 (22.9)	2,653	21.8	2.0
その他	122	1.1 (1.1)	127	1.0	3.8
合計	10,848 (11,362)	100.0	12,180	100.0	12.3 (7.2)

	平成19年3月期 第1四半期		平成20年3月期 第1四半期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,202 (6,476)	57.2 (57.0)	6,527	53.6	5.2 (0.8)
店舗販売	3,685 (3,925)	34.0 (34.5)	4,423	36.3	20.0 (12.7)
卸販売他	960	8.8 (8.5)	1,230	10.1	28.1
合計	10,848 (11,362)	100.0	12,180	100.0	12.3 (7.2)

(注) 金額欄及び構成比欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の数値です。  
伸び率欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の前第1四半期の売上高と当第1四半期の売上高を比較して算出した数値です。

**ファンケル化粧品**は、マイルドクレンジングオイルなどの定番製品が堅調に推移したことに加え、リニューアルした美白関連製品やメイク製品が好調で、9,399百万円(前年同期比15.7%増(※8.8%増))となりました。

**アテニア化粧品**は、昨年9月にリニューアルした基礎化粧品が好調で、2,653百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

**販売チャネル別**では、すべてのチャネルで増収となりました。通信販売は6,527百万円(前年同期比5.2%増(※0.8%増))、店舗販売は既存店が好調で4,423百万円(前年同期比20.0%増(※12.7%増))、卸販売他チャネルは海外向けが好調で1,230百万円(前年同期比28.1%増)となりました。

## 営業損益

損益面では、増収効果と広告宣伝費・販売促進費の効率化を図ったことより、営業利益は2,478百万円(前年同期比64.6%増(※64.9%増))、営業利益率は前年同期に比べ6.4ポイント上昇(※7.1ポイント上昇)し20.3%となりました。

## 2) 栄養補助食品関連事業

## 売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、7,556百万円(前年同期比1.4%減(※5.9%減))となりました。

	平成19年3月期 第1四半期		平成20年3月期 第1四半期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	3,616 (3,852)	47.2 (48.0)	3,401	45.0	△6.0 (△11.7)
店舗販売	1,988 (2,121)	26.0 (26.4)	2,185	28.9	9.9 (3.0)
卸販売他	2,056	26.8 (25.6)	1,969	26.1	△4.2
合計	7,662 (8,030)	100.0	7,556	100.0	△1.4 (△5.9)

(注) 金額欄及び構成比欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の数値です。

伸び率欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の前第1四半期の売上高と当第1四半期の売上高を比較して算出した数値です。

製品面では、HTCコラーゲンなどのビューティサプリメントは好調でしたが、コエンザイムQ<sub>10</sub>の売上減少が続き、ハーブ製品やサポートシリーズの売上も低迷しました。

販売チャネル別では、店舗販売は既存店が堅調で2,185百万円(前年同期比9.9%増(※3.0%増))となりましたが、通信販売は3,401百万円(前年同期比6.0%減(※11.7%減))、卸販売他チャネルは1,969百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

## 営業損益

損益面では、一部製品の原材料価格が低下したことおよび販売促進費の効率化を図ったことにより、営業利益は889百万円(前年同期比7.0%増(※7.2%増))、営業利益率は1.0ポイント上昇(※1.4ポイント上昇)し11.8%となりました。

## 3) その他事業

## 売上高

その他事業の売上高は5,192百万円(前年同期比9.9%減(※12.5%減))となりました。

	平成19年3月期 第1四半期	平成20年3月期 第1四半期	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	1,388 (1,449)	1,001	△27.9 (△30.9)
青汁事業	982 (1,031)	1,007	2.5 (△2.4)
いいもの王国通販事業	2,368	2,268	△4.2
その他の事業	1,026 (1,082)	916	△10.7 (△15.3)
合計	5,765 (5,931)	5,192	△9.9 (△12.5)

(注) 金額欄及び構成比欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の数値です。

伸び率欄下段の( )書きの数値は、当第1四半期と同じ会計基準を採用した場合の前第1四半期の売上高と当第1四半期の売上高を比較して算出した数値です。

**発芽米事業**は、平成19年4月より20%の値下げをしましたが、販売量の拡大にはつながらず、すべての販売チャンネルで前年同期を下回りました。前年は健康情報TV番組で取り上げられ、大きく伸長したこともあって、売上高は1,001百万円(前年同期比27.9%減(※30.9%減))となりました。

**青汁事業**は、冷凍タイプ、粉末タイプがともに伸びず、1,007百万円(前年同期比2.5%増(※2.4%減))となりました。

**いいもの王国通販事業**は、ミズノ株式会社と共同開発したウォーキングシューズが前期に引続き好調に推移しましたが、競合品の出現により健康器具などの売上が減少し、2,268百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

**その他の事業**は、雑貨・肌着の売上が低迷し、916百万円(前年同期比10.7%減(※15.3%減))となりました。

### 営業損益

損益面では、いいもの王国の損益は悪化しましたが、広告宣伝費の抑制などにより青汁事業の損益が改善したことにより、営業損失は409百万円となり、前年同期に比べ213百万円(※214百万円)改善しました。

### 【ご参考：業態別店舗数】

	平成19年6月末	前期末比
ファンケル銀座スクエア	1	—
ファンケルハウス	106	△1
ファンケルハウスJ	89	+1
元気ステーション	8	—
アテニアショップ	10	—
その他	4	—
合計	218	—

# 《ご参考》

## (要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成20年3月期 第1四半期末)	金 額	増減率	(平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
現金及び預金	7,578	9,067	1,488	19.6	7,594
受取手形及び売掛金	7,688	8,144	455	5.9	7,605
有価証券	7,922	10,290	2,368	29.9	12,293
たな卸資産	2,254	3,010	755	33.5	2,808
その他	2,178	2,530	351	16.1	2,502
流動資産合計	27,623	33,042	5,419	19.6	32,804
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産					
建物及び構築物	6,488	6,101	△ 386	△ 6.0	6,208
土地	7,176	7,167	△ 9	△ 0.1	7,167
その他	973	886	△ 87	△ 9.0	922
有形固定資産合計	14,638	14,154	△ 484	△ 3.3	14,298
2. 無形固定資産	1,661	2,893	1,231	74.1	2,622
3. 投資その他の資産					
投資有価証券	1,083	284	△ 798	△ 73.7	284
長期貸付金	6,277	6,136	△ 141	△ 2.3	6,238
保証金	2,455	2,438	△ 17	△ 0.7	2,438
その他	14,121	10,910	△ 3,211	△ 22.7	10,912
投資その他の資産合計	23,937	19,768	△ 4,168	△ 17.4	19,873
固定資産合計	40,238	36,816	△ 3,421	△ 8.5	36,794
資産合計	67,861	69,859	1,997	2.9	69,599
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
買掛金	2,282	2,460	177	7.8	2,672
未払金	2,660	2,716	55	2.1	2,369
未払法人税等	428	812	384	89.7	1,776
ポイント引当金	—	1,757	1,757	—	1,849
その他	1,851	2,079	227	12.3	1,513
流動負債合計	7,223	9,825	2,602	36.0	10,180
<b>II 固定負債</b>					
退職給付引当金	830	928	98	11.8	906
役員退職慰労引当金	202	161	△ 40	△ 20.1	189
その他	167	87	△ 80	△ 47.9	105
固定負債合計	1,200	1,177	△ 22	△ 1.9	1,201
負債合計	8,423	11,003	2,580	30.6	11,381
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
資本金	10,795	10,795	—	—	10,795
資本剰余金	11,851	11,877	26	0.2	11,852
利益剰余金	43,322	43,492	169	0.4	43,103
自己株式	△ 6,597	△ 7,492	△ 894	13.6	△ 7,699
株主資本合計	59,371	58,672	△ 698	△ 1.2	58,050
<b>II 評価・換算差額等</b>	66	54	△ 11	△ 17.6	54
<b>III 新株予約権</b>	—	128	128	—	111
純資産合計	59,438	58,855	△ 582	△ 1.0	58,217
負債・純資産合計	67,861	69,859	1,997	2.9	69,599

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

## (要約) 四半期個別損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	18,560	18,854	294	1.6	76,574
<b>II 売上原価</b>	6,858	6,278	△ 580	△ 8.5	26,042
売上総利益	11,702	12,576	874	7.5	50,532
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	10,941	10,902	△ 38	△ 0.4	45,355
営業利益	760	1,673	913	120.0	5,177
<b>IV 営業外収益</b>	257	339	82	32.0	1,253
受取利息及び配当金	84	104	19	23.7	210
その他営業外収益	172	235	62	36.1	1,043
<b>V 営業外費用</b>	62	78	16	26.2	517
たな卸資産廃棄損	46	64	18	38.4	304
その他営業外費用	15	13	△ 1	△ 10.5	212
経常利益	955	1,934	979	102.5	5,914
<b>VI 特別利益</b>	—	—	—	—	636
<b>VII 特別損失</b>	4	0	△ 3	△ 85.2	3,453
税引前四半期 (当期) 純利益	950	1,933	983	103.4	3,097
税金費用	362	776	414	114.1	1,952
<b>四半期(当期) 純利益</b>	587	1,156	568	96.8	1,144

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。